

どろんこだいすき

令和8年1月8日
千代田区立昌平幼稚園
園長 大川 美紀子

『昌平キッズ』ビオトープだより NO. 241

令和8年が始まりました。今年もビオトープだよりを通して、園庭の自然の様子や子どもたちの様子を知りたいと思います。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

多くの草花にとって、寒い冬は春に芽吹くための大変な準備期間です。そんな冬の園庭での遊びや、育ってきてる実や栽培物の様子をご紹介します。

夏みかんを食べました！

夏みかんは冬に色づき、収穫されるのが一般的です。それでは、なぜ「夏みかん」と呼ばれているのでしょうか。それは、収穫後、風通しのよい場所で数か月保存すると5月から7月ごろに酸味と甘みのバランスがよくなり、おいしくなるからです。このように、“夏に食べても美味しい”ことから「夏みかん」と呼ばれるようになりました。

昌平幼稚園の園庭でも夏みかんが立派に実りました。きりん組の子どもたちは、まだ実が青い頃から「はやく食べたい！」と楽しみにしていました。そのため12月になって夏みかんが色づくと、さっそく収穫して味わってみることにしました。味は少し酸っぱかったけれど、「先生、おかわり！」と言いながら美味しそうに食べていました。



「レモンみたいだね！」

「レモンみたいに酸っぱいのかな？」

「どんな匂いかな？」

どんぐり山は落ち葉でいっぱい！

秋が深まり、冬が訪れると、園庭のどんぐり山には落ち葉の絨毯ができました。踏んだ時や触った時の感触を楽しんだり、空に向かって飛ばすとヒラヒラと舞い降りることを面白がったり、池に落ちた葉をスコップでかき集めたりして、初冬の自然を十分に楽しんだ子どもたちでした。



カリンがたわわに実りました！

どんぐり山では、カリンも多く実りました。大きなカリンを拾うことが楽しくて、子どもたちはたくさん集めていました。拾ったカリンは保育室に飾ったり遊びに取り入れたりしていました。



学期末には一人ひとつずつ配り、各家庭にお持ち帰りいただきました。それでも多く残ったので、長時間・預かり保育の時間に、カリンを使って足湯を楽しみました。



各学級の球根の芽が出てきました！

10月の土となかよしで一人ひとつずつ植えた球根が、12月になって芽を出しました！



ひよこ組【クロッカス】

うさぎ組【スイセン】

きりん組【チューリップ】

ビオトープクイズ

この葉っぱからできる赤い果物はなんでしょう？

- ① すいか
- ② いちご
- ③ りんご

ヒント：ケーキの上に
よくのっているよ！

1月16日（木）の登園時までに、解答用紙
をビオトープクイズ応募箱に入れてください。

